

【2026衆議院選挙】
こどもの貧困施策に関する
政党アンケート調査



2026年1月30日 (金)

【アンケート実施概要】

- 実施団体：公益財団法人あすのぼ、認定特定非営利活動法人キッズドア、特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、入学金調査プロジェクト、特定非営利活動法人ひとり親家庭サポート団体全国協議会(50音順)
- 調査対象：政党11党(新党結成により10党に変更)
- 調査方法：メール・郵送・事務局への持参によって各党へのアンケートを依頼。
- 実施日程：1月16日送付、1月23日までの回答を希望 ※送付不備により参政党には21日送付。
- 回答状況：自由民主党、日本維新の会、中道改革連合、国民民主党、参政党、れいわ新選組、日本共産党、社会民主党、チームみらいより回答(1月30日正午現在)
(1月27日の速報発表から、参政党とチームみらいの回答を追加。未回答の日本保守党から回答があれば、追加し公表予定です)
- 調査内容：
 - 【こどもの貧困対策への重点的な施策の拡充】【困窮子育て世帯への緊急支援】
【児童扶養手当の所得制限の引き上げ】等に関する、各党の姿勢(賛成・反対・その他)
 - 【こどもの貧困対策に関わる公約】について

- 各政党の回答概要、質問文全文は、次頁以降に掲載しています。
- 各政党からの回答の詳細(全文)は、以下からURLおよびQRコードからダウンロードできます。

<https://x.gd/ErIzm>



- アンケートに関するお問い合わせ
こどもの貧困対策6団体2026衆院選政策アンケート係
(担当：公益財団法人あすのぼ 五十嵐、小河)
東京都港区赤坂2-18-1赤坂ヒルサイドビル5F
メール：info@usnova.org 電話：03-6277-8199(平日9時30分～17時30分)

こどもの貧困対策への重点的な施策の拡充について

「賛成」○、「反対」×、「その他」■と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

自民	○	進学へのチャレンジを応援する学習支援強化、居場所づくりの強化などに取り組む	共産	○	児童扶養手当を20歳までに。生活保護引き上げ、就学援助の対象を生保×1.5まで拡大
維新	○	教育の全過程にかかる費用を所得制限なく無償化	れいわ	○	各地の子ども食堂のような対策を、国が場所や人件費、食料を支援して政策として推進
中道	○	低所得家庭のこどもの健康や安全を守るための緊急支援、児童扶養手当の拡充に取り組む	保守	■ 未回答	
国民	○	高校まで完全無償化、児童手当拡充、年少扶養控除復活、養育費確保、児童扶養手当の拡充	社民	○	副教材費、修学旅行代など教育の無償範囲の拡大。奨学金も給付型を原則
参政	○	家計の底上げと子育て負担の軽減で、貧困家庭が生じにくい経済社会を目指す	みらい	○	生活困窮世帯への経済的支援強化、フードバンクや子ども食堂への支援等

困窮子育て世帯への緊急支援について

「賛成」○、「反対」×、「その他」■と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

自民	■	部分的に賛成。重点支援地方交付金の推奨事業として盛り込んでいる	共産	○	住民税非課税世帯への手当加算を今すぐやるべき
維新	○	上乘せとなる取り組みは賛成だが、現金給付はバラマキのため反対	れいわ	×	まずは一律給付すべき。選別をすれば分断を生む懸念がある
中道	○	電気代や食料品の高騰からこどもの命を守るための特段の支援が必要	保守	未回答	
国民	■	減税、社会保険料の軽減などによる手取り増を実現	社民	○	本来は児童手当をもっと手厚くすべき
参政	○	困窮家庭のさらなる貧困化が進んでおり、命にかかわる問題で、緊急支援が必要	みらい	○	経済的に困窮されている世帯を支える施策として賛成

児童扶養手当の**所得制限**の引き上げについて

「賛成」○、「反対」×、「その他」■と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

自民	■	加速化プラン全体の効果検証、多面的な検討が重要	共産	○	ひとり親への医療費助成など自治体施策と連動しており抜本的な引き上げが必要
維新	○	物価高騰を鑑みた基準値変更と、その適正値の議論が必要	れいわ	○	選別よりも一律給付のほうが望ましく、所得制限は撤廃すべき
中道	○	「所得制限の壁」を引き上げ、働き控えの解消、経済の活性化につなげる	保守	未回答	
国民	○	こどもに関する公的給付の所得制限の撤廃をめざす	社民	○	対象の範囲と支給額を拡大すべき
参政	○	所得制限なく手厚い支援を受けられる環境の整備が必要	みらい	○	所得制限は撤廃すべき。まず引き上げからでも早期に実施すべき

児童扶養手当の支給額の引き上げについて

「賛成」○、「反対」×、「その他」■と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

自民	■	加速化プラン全体の効果検証、多面的な検討が重要	共産	○	すみやかな引き上げが必要。1人目からの抜本的な引き上げが必要
維新	○	物価高騰を鑑みた基準値変更と、その適正値の議論が必要	れいわ	○	一律で増額することが必要
中道	○	一律に増額し底上げする必要がある	保守	■	未回答
国民	○	児童扶養手当の水準を引き上げる	社民	○	対象の範囲と支給額を拡大すべき
参政	○	児童扶養手当の増額に替えて、月10万円の子育て教育給付金などでの対応	みらい	○	物価上昇に合わせた見直しが必要

行政による「養育費の立替払い」の全国展開について

「賛成」○、「反対」×、「その他」■と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

自民	■	国民負担の合理性など検討すべき事項を多く含む、今後の課題	共産	○	国の責任で養育費の立替え払い制度、養育費取り立て援助制度の確立が必要
維新	○	子どもが両親の離婚によって経済的な不利益を被らないよう環境を整える	れいわ	○	国が制度を作り、日本全国どこにいても養育費が確保できる体制を作るべき
中道	○	養育費立替払制度の創設など公的関与の拡大を進める	保守	未回答	
国民	■	養育費の支払い確保の見直し状況を踏まえ、取り組む	社民	○	全国一律の国の制度とすべき
参政	○	親からの直接徴収が原則だが、例外的に立替え払いをせざる得ない場合は容認	みらい	○	支払い義務者の給与からの天引き、一定金額の公的な立て替えの導入

「入学金二重払い」解消について

必要な施策に「○」と表記。自由記述はポイントのみ抜粋

	自民	維新	中道	国民	参政	共産	れいわ	保守	社民	みらい
学校が入学金の運用を変えるべき		○	○			○		未回答		○
受験料などの支援を拡充すべき			○			○				
奨学金などの給付時期を早期化すべき			○			○				○
その他	大学の実情に応じた負担軽減の取組が進むよう取組む			大学の経営状況等を鑑み必要な検討を行う	奨学金給付制度の拡充、返済方法の多様化など	大学の基盤的経費の拡充を進め、入学金廃止をめざす	私学助成金を増額して入学金そのものを不要とすべき		大学への機関補助で入学金二重払いをなくすべき	

こどもの貧困対策に関わる公約

回答はポイントのみ抜粋

<p>自民</p>	<p>保育の質の向上、虐待や貧困などの多様な支援、ニーズを有するこども・若者やその家族にきめ細かい対応を行っていく</p>	<p>共産</p>	<p>児童扶養手当、児童手当、生活保護、就学援助の拡充、保育・教育の無償化、医療費無料、公共住宅建設など</p>
<p>維新</p>	<p>経済状況にかかわらず、質の高い教育を受けられるよう、教育の全過程にかかる費用を所得制限なく無償化</p>	<p>れいわ</p>	<p>所得制限なし・高校卒業まで子ども手当月3万円</p>
<p>中道</p>	<p>食料品消費税ゼロ、給付付き税額控除、児童手当の拡充、教育の無償化の拡大、給食費負担軽減、ひとり親家庭支援</p>	<p>保守</p>	<p>未回答</p>
<p>国民</p>	<p>0歳児見守り訪問、18歳まで医療費、給食、保育料、修学旅行費などを無料に。児童手当を一律に月1万5千円に拡充。</p>	<p>社民</p>	<p>教育の無償、給付型奨学金の拡大</p>
<p>参政</p>	<p>子ども一人あたり月10万円の子育て教育給付金や消費税の段階的廃止等で、こどもの貧困の解消につなげる</p>	<p>みらい</p>	<p>困窮世帯への経済的支援強化、子ども食堂等の支援、地域のネットワーク強化などを通じ、貧困の世代間連鎖を断ち切る</p>

質問文全文

(こどもの貧困施策の拡充について)

1. 所得制限のない高校無償化・小学校給食無償化児童手当の拡充の一方で、こどもの貧困への重点的な支援の拡充が遅れています。こどもの貧困対策への重点的な施策の拡充に賛成ですか。反対ですか。賛成の場合は拡充すべきと考える施策の内容を、反対の場合はその理由などを教えてください。

・賛成

・反対

内容/理由()

(緊急施策について)

2. すべてのこどもへの2万円の「物価高子育て応援手当」に加えて、物価高への緊急支援として困窮子育て世帯への手当を上乗せすることに賛成ですか。反対ですか。また、その理由などを教えてください。

・賛成

・反対

その理由()

(ひとり親世帯への恒久的な施策について)

3. OECD諸国でワースト状況のひとり親世帯の貧困解消のために、以下のことについて賛成ですか。反対ですか。またその理由などを教えてください。

1. 児童扶養手当の所得制限は、30年以上前の408万円より低い385万円です。この所得制限を引き上げることに賛成ですか。反対ですか。また、その理由などを教えてください。

・賛成

・反対

その理由()

2. 児童扶養手当の支給額は、物価高騰に追いつかず十分な増額がされていません。支給額を引き上げることに賛成ですか。反対ですか。また、その理由などを教えてください。

・賛成

・反対

その理由()

1. 養育費の立替払制度について、兵庫県明石市やさいたま市などでは行政が実施していますが、それを全国に拡げることについて賛成ですか。反対ですか。また、その理由などを教えてください。

・賛成

・反対

その理由()

(「入学金二重払い」解消について)

2. 入学しない学校にも入学金を支払う「入学金の二重払い」について、文部科学省からの働きかけを受けて、私立大学が見直しを始めています。この「入学金の二重払い」の改善のためにはどのような施策が必要だと考えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

(1) 学校が入学金の運用を変えるべき

(2) 受験料などの支援を拡充すべき

(3) 国の給付型奨学金制度など、入学後に給付される支援制度の給付時期を早期化すべき

(4) その他

()

(公約に関わる質問)

3. 来る衆議院議員選挙において、こどもの貧困対策に関わる公約を掲げますか。また、その理由などを教えてください。

・掲げる

公約の内容()

・掲げる予定はない

その理由()